平成29年度　近肢連　研修報告書

理学療法・作業療法 部会

幹事園　京都府立こども発達支援センター

吹田市立こども発達支援センター　わかたけ園

滋賀県立小児保健医療センター　療育部

日時	平成 29 年 11 月 11 日（ 土 ） 10:00 ～ 12:00
開催場所	大阪シティアカデミー第4会議室　（吹田市）
テーマ	乳幼児期から成人期を見通した支援：他職種協働による生活マネジメント
講師	大阪発達総合療育センター　リハビリテーション部　作業療法士　辻薫先生
参加人数	63 名
まとめ	＜内容＞ ・「子ども達が成人する将来の日本の社会について」と「それを見越した、国の政策－障害児者を取り巻く政策の変化と私たちに求められる役割」 ・子ども達が社会で育っていくために求められている多職種連携 セラピストは、個別セラピーの取り組みだけでなく、子ども達への支援方法を多職種に伝え、生活をマネジメントできる力が必要。「具体的で・わかりやすく・誰にでもできる」支援方法を提示できれば、その支援は生活で定着し支援者が変わっても継続される。 ・成人期までを見通すためのアセスメントの視点 ・これまで経験された事例紹介　など ＜所感＞ 先生の経験をもとに事例を通して「子どもと家族を中心に、家庭生活、学校生活、卒業後の自立生活を見通した、一人一人の個性に応じた支援」を話して下さり、目の前にいる子どもたちの今の生活にしっかり向き合うことと同時に、将来の生活を見通した支援方法を考えること、家族支援、多職種連携の大切さを再認識できた研修会でした。 参加者のアンケートでも、「先を見据えての支援のイメージが広がった」や「具体的な話が聞けて良かった」との意見が多くみられ、参加者の日々の仕事に繋がる研修会となりました。